

寒さに耐えて花ひらく

「花のまちおおむら」が旬を迎えました。今年は開花が少し遅れましたが、大村公園や野岳湖周辺では、満開のサクラに誘われ、たくさんの花見客でにぎわいました。また、裏見の滝自然花苑しゃくなげ園でも、世界各国のシャクナゲが訪れる人々たちを楽しませていきます。

4月3日は、東日本大震災の支援募金を募る「シユガーロード(長崎街道)大村すいーつチャリティーイベント」が行われ、売上金の一部を義援金としてお送りしました。



4月8日

黒門をくぐって入学式

▶大村小学校入学式



大村小学校では、新しく改修された伝統の黒門が開放され、新一年生を迎えられました。ピカピカのランドセルを背負った新入生は、家族に手を引かれながら緊張した面持ちで入学式へ向かっていました。

今年は、市内の小学校へ1,038人の新一年生が入学しました。

4月2日・3日

雛の茶会

ひな

風情ある屋敷で一服を楽しむ



サクラの開花に合わせて、旧楠本正隆屋敷では大村市茶道連合会による「雛の茶会」が開催されました。好天にも恵まれ、風情ある屋敷で庭園を眺めながら、お抹茶とお雛様を楽しみ、ゆっくりと流れるひとときを楽しみました。

3月27日

遊

▶いけばなの集い

遊び心を生け花で表現



「大村のひなまつり」期間中、旧楠本正隆屋敷では池坊いけばな笹山社中による「いけばなの集い」が開催され、藩主大村家に伝わるお雛様の前で、優雅に生け花が実演されました。子どもたちの発表は、遊び心いっぱい、お雛様やちらし寿司などを生け花で表現していました。